

平成22年1月29日

観光交流課

直通電話 0742-34-1965

内線 2920

キャンベラ奈良公園彫刻コンクール最優秀作品の決定について

奈良市の姉妹都市であるキャンベラ市（オーストラリア首都特別地域政府）が実施する「キャンベラ奈良公園彫刻コンクール」審査がキャンベラ市にて行われ、最優秀作品1点が決定されました。

審査は昨年10月下旬から11月上旬にかけてキャンベラ市内において、出品作品の模型およびデッサンに基づいて行われました。

最優秀作品は今年9月にキャンベラ市にあるキャンベラ奈良公園に設置される予定です。

記

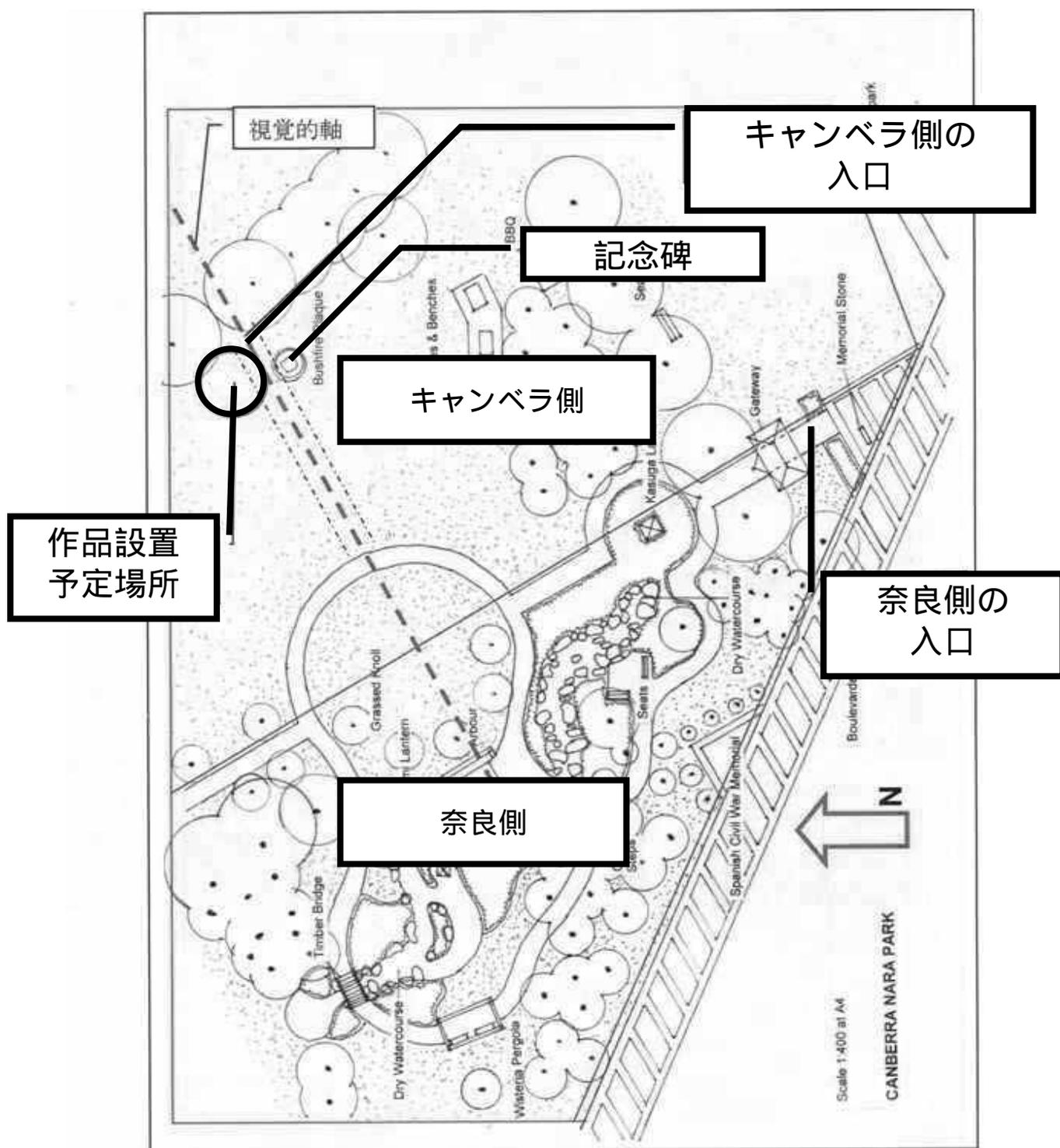
最優秀作品 「徳 TOKU」 ^{かとう}加藤 ^{しんき}信喜氏 作

キャンベラ奈良公園について

1 キャンベラ奈良公園の概要

- | バリー・グリフィン湖畔のレノックスガーデンにある「キャンベラ奈良公園」には、姉妹都市であるキャンベラと奈良市の友好関係が、より深まり、育まれることへの願いが込められている。
- | 公園には、2基の灯籠（約5トンの春日灯籠と約3トンの雪見灯籠）と黒御影石の万葉歌碑（あをによし奈良の都は咲く花の薫ふがごとく今盛りなり）が設置されている。奈良市民の寄付等により寄贈されたもので、1997年4月のキャンベラ奈良公園起工式に奈良市民団（団長：大川市長（当時））が参加し、目録が送られた。
（キャンベラ奈良公園の竣工式は1999年10月）
- | 公園の建設にあたり、奈良から100,000オーストラリアドル（当時で約1,000万円）の寄付があり、春日灯籠の下には寄付を行った奈良市民10,000人の名前のタイムカプセルが埋められている。
- | 公園は日本の伝統的な庭園をイメージしており、桜や藤、もみじなどの日本の植物や東屋や配されている。
- | 2003年11月の奈良市民団訪問時に燈花会のカップを1,000個持参し、奈良の燈花会を公園にて再現した。以来、キャンベラ市民により毎年燈花会が行われ、「キャンベラ キャンドル フェスティバル」としてキャンベラの早春の一大イベントとなっている。2010年は9月に開催される予定である
- | 公園では、バーベキューや結婚式などが行われ、市民の憩いの場として親しまれている。

2 設置場所について



キャンベラ奈良公園は、キャンベラ側と奈良側の二つの部分から成り立っている。奈良側には公園の入口には日本風の門と奈良市民から贈られた万葉歌碑が建てられている。

キャンベラ側の入り口には奈良市から義援金を贈られたことを記念する碑があり、視覚的軸をはさんだ反対側に最優秀作品を設置する予定である。

キャンベラ奈良公園彫刻コンクールの概要

1 コンクールを行うに至った経緯

キャンベラ市は、同市内にパブリックアートを設置する事業を続けておられ、現在約70基の作品があります。今回のコンクールは、平成18年(2008年)9月にキャンベラ市のジョン・スタンホープ チーフミニスターから藤原市長(当時)に、平城遷都1300年を祝うため同市内のキャンベラ奈良公園に設置する彫刻作品の募集についての協力依頼があったことがきっかけです。

コンクールの最優秀作品は、キャンベラ市が設置するパブリックアートとしては、初めての海外制作作品となります。

2 コンクールの概要

(1) テーマ

奈良市とキャンベラ市は、平成5年(1993年)10月26日に姉妹都市提携して以来、これまで数々の交流を重ねてきました。そこで作品のテーマは、「キャンベラ市と奈良市の友好関係と相互理解及び両都市の長年にわたる姉妹都市関係」とします。

(2) スケジュール

年	月	内 容
21	3	コンクール出品者の募集(3月1日~4月30日)
	5	奈良市での審査(コンクール出場者 5人の決定) (出場者は、コンクール出品作品の模型を制作)
	10	キャンベラ市で彫刻コンクール開催 (最優秀作品 1作品を決定。制作費・輸送費として20万豪ドルを支給) 20万豪ドル=約1,572万円(平成21年12月21日現在のレートで計算)
22	1	最優秀作品の発表 (キャンベラ奈良公園に設置する作品を制作)
	7	設置作品をキャンベラ市へ輸送
	9	キャンベラ奈良公園へ最優秀作品を設置 (キャンベラキャンドルフェスティバル開催期間中)

(3) 応募資格

次のいずれかに該当し、過去に彫刻の制作受託経験を有する人。この資格を満たす人で構成されるグループでの応募も可能。

- ア 奈良県在住・在勤者
- イ 奈良県に住んでいたことがある人
- ウ 奈良県内の学校に在学歴のある人

3 第1次審査の概要

奈良県内在住・在勤者または居住歴、通学歴のある方を対象として、平成21年3月1日から4月30日までの期間に募集いたしましたところ15人の方々の応募がありました。

審査は、過去に制作した作品と受賞歴などを記載した応募書類を基に行いました。

- ア 審査日時 平成21年5月25日(月) 午後1時～午後5時
- イ 審査場所 キャンベラの間(市庁舎中央棟5階)
- ウ 審査員(敬称略)
 - ┆ ウェンディ・ティーケル(オーストラリア国立大学美術学部彫刻学科長)
 - ┆ デイビッド・ホイットニー(オーストラリア首都特別地域政府首席大臣府芸術室長)
 - ┆ たつみ ふみかず 辰巳 文一(奈良市美術家協会会長)
 - ┆ しまだ やすひろ 島田 康寛(美術評論家)
 - ┆ 藤原 昭 (奈良市長)

4 彫刻コンクールの概要

第1次審査の結果、5名の出品者を決定しました。5名の出品者には、平成21年8月31日を締切として彫刻コンクールに出品する作品の模型、デッサンを提出していただき、9月中旬にキャンベラ市に向けて発送しました。

平成21年10月27日、キャンベラ市にて審査が開始され、デザイン・作品制作の意図・予算等を総合的に勘案し最優秀作品1点を選びました。

その後、キャンベラ市のジョン・スタンホープチーフミニスターの承認を経て平成22年1月24日、キャンベラ市にて結果が発表されました。

5 最優秀作品について

最優秀作品に選ばれた加藤信喜氏作の「徳 TOKU」は次の点が特に優れていると認められました。

- 1 キャンベラ市を五重塔、奈良市を金堂に見立て、両都市の友好関係と相互理解及び長年の姉妹都市関係を表現していること。
- 1 キャンベラ奈良公園内の最優秀作品設置予定場所に隣接する記念碑をデザインの際に考慮していること。(記念碑は、2003年1月にキャンベラで発生した火災による被害に対して奈良市から義援金を送ったことを記念して建てられたものです。)
- 1 メンテナンスが比較的容易であること。

徳 TOKU

かとう しんき

《出品者》 加藤 信喜

- ・大阪府在住（奈良県在勤）
- ・主に使用する素材はスチール



《作品制作の意図》

法隆寺が建てられたのは今から1400余年前のこと。奈良斑鳩の地に、聖徳太子が建立したと伝えられている。伽藍には五重塔と金堂が仲良く肩を並べるように配置され、互いに響きあい、アシンメトリー※の美をかもしだしている。キャンベラ市を五重塔、奈良市を金堂に見立てることで、両都市の友好関係と相互理解及び長年の姉妹都市関係をかたちにすることができるのではないかと考えた。公園の視覚的軸線をより明確にするために伽藍になる5m角の敷地を軸線と平行に置き、人々は森林追悼碑と「徳」との間をゲートのように通りぬけてアプローチすることになるであろう。

五重塔は錆仕上げの鉄板で構成され、見る角度によっては面だけの立体になるようデザインした。見上げると平和を象徴する小鳥がさえずっている。実は大樹を象徴した造形でもある。一方、金堂は自然石そのものであり、ベンチでもある。宙に浮いて見えるよう地面から離している。

※アシンメトリーとはシンメトリー(左右対称)とは違い左右非対称のこと。

